

令和4年度子ども読書アンケート分析

【保護者編】

○問2 あなたは本を読むことが好きですか？

「好き」「どちらかと言えば好き」が78.3%と割合が高く、保護者は読書に対して好意的に考えていることがうかがえる。

○問3 あなたは本を読むことが大切だと思いますか？

「大切だと思う」が97%と全体の大半を占め、保護者が読書の重要性を感じていることがわかる。

○問4 お子さんに絵本などの読み聞かせをすることは大切だと思いますか？

全体の84.4%の保護者が読み聞かせについて大切だと思っている。

○問5 ご家庭でお子さんに絵本などの読み聞かせをしていますか？

全体の73.4%の保護者が週に1回以上の読み聞かせを行っている。

○問6 読み聞かせを始めたきっかけは何ですか？

子どもに「読んでほしいと頼まれた」が今年も50%以上となり、子どもからのアプローチがきっかけになっている保護者が多いことがわかる。

※「その他」の内容として、意見多かったものは次のとおり。

- ・寝る前の習慣として
- ・子どもとのコミュニケーションとして
- ・子どもが生まれたり読んであげたいと思っていた
- ・妊娠している時から
- ・自分が本を読むのが好きだから
- ・言葉の発達のため
- ・絵本を読んで色々覚えて欲しいと思ったから
- ・喜ぶ顔が見たいから（反応を見たかった）
- ・読み聞かせが大切だと聞いたから
- ・出産祝いにもらったから
- ・読書を習慣にしてほしかったため
- ・絵本を購入したので

○問7 お子さんがいくつの時から読み聞かせを始めましたか？

昨年度同様に、子どもが言葉（喃語含む）を発し出す「0歳」「1歳」に集中していた。

○問8 読み聞かせをして、お子さんの反応はいかがですか？

「喜んでいる」「どちらかといえば喜んでいる」が99.7%と高い割合を占め、読み聞かせを子どもが好意的に感じていると思っている保護者がほとんどだった。

○問9 読み聞かせをして、お子さんはどのように変化したと思いますか？

昨年度同様、「興味を持つようになった」「本が好きになった」の回答が多かった。

※「その他」の内容は次のとおり。

- ・0歳からの習慣なのでわからない
- ・本を読むことが習慣になった
- ・寝る前に読むと寝かしつけがスムーズになった
- ・難病で発達が遅いのでわからない

○問10 読み聞かせの本はどうやって用意していますか？

半数以上が購入しているが、「その他」の回答内容として、意見多かったものは次のとおり。

- ・お下がり
- ・親戚などからのもらいもの
- ・自分自身（親）が小さいときに読んでいた本
- ・保育所の月刊絵本

（総括）

昨年度と比べ、数字として大きな変化はないが、本が好き、またはどちらかといえば好きと回答した保護者が多く、さらに本を読むこと、子供に読み聞かせをすることを大切だと思っている保護者がほとんどの中、ご家庭で読み聞かせをほとんどしてない保護者も昨年度から0.5ポイント増えている。

読み聞かせをすることが大切だと感じていながらも、日常の中で時間に追われ、読み聞かせまで手が回らない保護者もいるのではないかと感じる。本や絵本が親子のコミュニケーションのツールとして活用してもらえよう、また、親子で読み聞かせを楽しんでもらうためにライフスタイルにあった啓発活動が重要であると思われる。